

一 小の校内研修(一人1授業)

道徳科の学習

令和3年2月9日(火) 第5校時 2年2組

<主題名> 自分のよいところ【個性の伸長】 資料「ミーボーしんぶん」

<学習について>

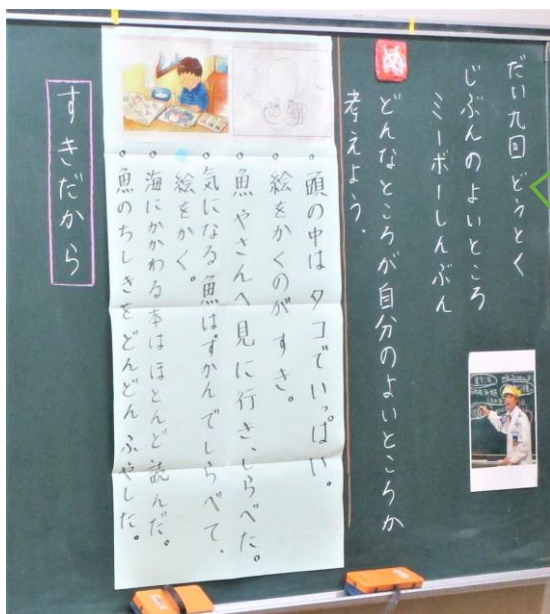
この授業は、次のような気持ちを育てることをねらいとしています。

主人公が気づいた「自分のよいところ」について考える活動を通して、自分の長所に気づき、見つけていこうとする心情を育てる。

資料について：「さかなくん」として親しまれている主人公の小学生の時のエピソード。

主人公は魚が好きで、魚について調べていた家庭学習が先生の目に止まり、「ミーボーしんぶん」という名前で貼り出された。主人公は、友だちが読んでくれるのか心配していたが、多くの友だちから賞賛を浴び、もっと魚のことを伝えたいと思うようになっていった。

活動1 「自分のよさ」について考え、学習のめあてをつかむ。



「あなたのよいところはどんなところ？」と聞かれましたが、なかなか答えが見つかりません。そこで「さかなくん」のことを紹介し、そのよさを発表し合いました。

「さかなくんのよさは分かるのに、自分のよさは何で分からないのでしょうか」という意識をもとに、学習のめあてを立てました。

活動2 資料を読んで、主人公の気持ちの変化について話し合う。



問：「家庭学習を新聞にしてはり出す」と言われた時の気持ちは？

気持ちを赤(前向きな気持ち)と青(不安や心配)の2色で表現し、いろいろな考えを引き出すようにしました。



問：「感動がびりびりと体の中をつきぬけたのはなぜ？」

この授業のポイントの一つです。児童は主人公のよさがみんなに認められた時の気持ちを様々に表現していました。

活動3 友だちとペアになり、互いのよさを伝え合う。



まず、伝え合いの仕方を確認。



そして、いろいろな友だちと伝え合い。



いろいろな友だちから自分のよさを教えてもらった児童は得意そうに発表。

友だちからの指摘で、たくさんのよさを知って照れている子もいました。



板書の様子です。

授業後も笑顔を見ることができました。